

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社Anniversary		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 13日 ~ R8年 1月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	R7年 11月 13日 ~ R8年 1月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日のリハビリテーションの実施 2か月に1回の他事業所や連携施設とのリハビリ勉強会の実施 1か月に1回～2回のリトミックの実施（外部講師）	積極的なボランティアの受け入れ 小児リハビリテーションの実技および講義の実施 若手育成のための臨床指導 心と体の調和・情緒の安定と自己表現力・社会性や協調性の発達を促すことをリトミックで実施	継続的に積極的なボランティアの受け入れ 小児リハビリテーションの実技および講義の実施 若手育成のための臨床指導の継続 外部講師の積極的な受け入れ
2	重度心身障害児や医療的ケア児の積極的な受け入れ	看護師の2名体制による安全と安心の担保	スキルアップ研修（外部講師および内部研修の充実） 歯科衛生士による嚥下・摂食の評価・指導の実施 歯科衛生士による保護者・スタッフの実技指導の実施
3	地域特性を活かした行事の参加	自治会長に1年間のスケジュールを聞き、地域の行事に積極的に参加できるようにお願いをしている 今年度は、お七夜・クラシックカーイベント・七夕祭・折り鶴コンクール・大阪万博・オンラン遠足・三重県障害者芸術文化祭・アンダンテ交流会・リトミック参加・三線コンサート・県文のこいのぼり・すばる児童館での絵本作家浦中さんによるリトミックなど多くのイベントに参加できた	SNSでの発信 Anniversary行事に兄弟や地域の方が参加できる工夫

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎が城山特別支援学校までの片道しか実施できていない 通学支援ができない	医療的ケア児を複数人乗せての送迎のリスクに対応できるスタッフがいないため、医療的ケア児のリスク管理ができる看護師の採用検討中	人材の確保のための求人の実施
2	スタッフの高齢化	スキルの高いスタッフに関しての定年の引き上げ	人材の確保のための求人の実施 高校求人の実施、就職フェアの参加 実習生の受け入れ 積極的なボランティアの受け入れ スキルアップ研修（外部講師および内部研修の充実） SNS発信
3	・駐車場やスロープに屋根がないため、雨天の際は傘をさしても濡れてしまうことがある ・イベントの際、駐車場が少ないため離れた場所に停める必要がある ・屋内・屋外含め遊具ない	・賃貸のため大掛かりな工事ができない ・駐車場に関しては今現在、増築工事実施（今年度中に完成）	・屋根に関してはオーナーと検討中 ・駐車場に関しては今現在、増築工事実施（今年度中に完成） ・屋外遊具に関しては一身田小学校の利用可能